



総務省

琵琶湖で安全なレジャーを楽しむために、電波を活用します －滋賀県琵琶湖地域における電波有効利用検討会を開催－

近畿総合通信局は、2019年4月23日に「滋賀県琵琶湖地域における電波有効利用検討会」を立ち上げ、第1回目の検討会を大津市で開催しました。

本検討会は、滋賀県琵琶湖における「船舶の安心安全な航行」と「消防及びマリナー等関係機関の円滑な活動」を支援する無線通信システムの構築と社会実装を目的とするもので、滋賀県小型船協会、大津市消防局、滋賀県のほか、無線通信機器メーカー等により構成されています。



座長に選出された神戸市外国語大学の芝氏

当日は、座長に神戸市外国語大学教授の芝勝徳氏を選出し、検討会開催要綱の確認のほか、船舶等の安心安全な航行を支援する情報の発信のあり方や使用する機器のイメージ、社会実装に向けた実証実験の方法及びスケジュールについて議論が行われました。

当検討会では夏以降にシステムの実装実験を予定しています。

船舶に限らず、琵琶湖のマリンレジャーに関わる方々の安心・安全を確保するシステムを導入することにより、琵琶湖地域、ひいては滋賀県の地域振興にも貢献していきたいと考えています。



夜明けの琵琶湖湖畔

和歌山で地域情報化推進セミナー （「災害情報伝達に関するセミナー（第3弾）」を開催しました

近畿総合通信局は、2019年5月20日に、和歌山市内で「地域情報化セミナー（「災害情報伝達に関するセミナー（第3弾）」を開催し、和歌山県内の自治体関係者を中心に65名が参加しました。

本セミナーでは、大規模災害の被災地住民に災害情報や支援情報を伝達するための手段となり、東日本大震災では発災から復興にかけて地域情報の「ハブ」としての役割も果たしていた臨時災害放送局について、放送用設備導入のノウハウ、運営の現場から見える課題、開設に伴う準備等について情報提供等を行いました。

まずは対話形式により、NHK放送文化研究所の村上圭子氏とラジオパーソナリティーの村上隆二氏が、臨時災害放送局の立ち上げや現場で運営してきた経験などを紹介、その後のパネルディスカッションでは、当局の大橋秀行局長のほか、地元和歌山のコミュニティFM局の関係者なども加わり、会場の自治体関係者とともに、災害時における放送局の役割や情報伝達の方法について具体的な議論を行いました。このほか、会場では臨時災害放送局の運営に係る関連機器の展示も行われました。



セミナーの模様



総務省

近畿受信環境クリーン協議会第69回総会を開催

近畿総合通信局とともに、テレビ・ラジオの受信障害防止に向けて取り組んでいる近畿受信環境クリーン協議会（会長：渡辺尚大阪大学大学院情報科学研究科教授）は、2019年5月16日に、大阪市内のホテルで第69回総会を開催し、放送関係者等60名が参加しました。

総会の冒頭、渡辺会長が、昨年6月の大阪府北部地震や大型台風の襲来により甚大な被害が生じたことを振り返り、「平時はもとより、このような非常時においては、テレビやラジオの受信環境がクリーンな状態になっていることが如何に重要であるか、改めて痛感させられた」と挨拶しました。

続いて、近畿総合通信局の大橋局長が「IoTの時代を迎え、一人一人が某かの電波を発信する機器を持ち、発信体として電波環境に関わっている。そういう時代にあって、次の時代にクリーンな受信環境を受け継いでいく活動をしっかり行う必要がある」と挨拶しました。

総会では今年度の事業計画等が議決され、テレビの受信障害の解消に功績があった個人1名の表彰が行われました。

表彰式の後、(国研)情報通信研究機構電磁波研究所の久保勇樹氏が「宇宙天気予報の最新動向」と題して講演しました。



挨拶する大橋局長

6月1日は
「電波の日」

5月15日～6月15日
「情報通信月間」

<電波の日とは>

1950年6月1日に電波法、放送法及び電波監理委員会設置法が施行され、それまで政府に限られていた電波の利用が広く国民に開放されました。これを記念して6月1日が「電波の日」に定められ、今年で69回目を迎えます。

<情報通信月間とは>

1985年の情報通信の制度改革を契機に情報通信の普及・振興を図ることを目的として設けられました。毎年5月15日から6月15日までの期間中に各地で情報通信に関する様々な行事を開催しており、今年で35回目を迎えます。

行事の詳細・最新情報はホームページへ

ホームページに各行事の詳細・最新情報を掲載しております。お近くの行事をぜひチェックしてください。

<http://www.jtgn.com/>

情報通信月間

検索



ICTがわかる
行事がいっぱい!!

情報通信月間

5/15
6/15



6月1日は
電波の日

5月15日～6月15日は
情報通信月間

ICTのAgileな導入によるSociety 5.0の実現

- サイバーセキュリティの強化、ICTの安心・安全の確保、ICT人材の育成
- 5G、光ファイバ、4K・8K等の世界最高水準のICT基盤の整備
- 多様な産業分野におけるIoT・AI等の積極活用 ●地域のポテンシャルを引き出すICTの活用
- 海外展開・国際的な政策連携

